

【台北 = 山田周平】台湾で急進独立派政党と目されてきた台湾団結連盟(台連)を事実上率いる李登輝前総統が地元メディアに「私は今まで台湾独立を主張したことはなく、独立を追求する必要も無い」と語り、方針転換を表明した。中国資本の台湾投資も歓迎するとも語った。現実的な中道路線をとって無党派層を取り込み、政界で影響力を維持する狙いだ。

李氏は1月31日発売の地元誌「壹週刊」のインタビューなどで「台湾は事実上すでに主権独立国家であり、台湾独立を追求するのは後退だ」との論理を展開。「(中国)大陸から来る人をすべてスパイと見なしてはダメだ」と述べ、中国からの投資や観光客を歓迎する意向を示した。

<http://www.nikkei.co.jp/kaigai/asia/20070201D2M0101P01.html>